

中2国

令和三年度 学力診断のためのテスト

※放送問題は最後のページにあります。

中学校第二学年

組

番

名前

※解答はすべて解答用紙に書きなさい。

1

次の――の付いた漢字の読みがなを、ひらがなでいいねいに書きなさい。

① 甘い食べ物が好きだ。

② 珍しい生き物を見つけた。

③ 真剣に考える。

④ おすすめの本を紹介する。

2

次の――の付いた部分を、漢字で正しくいいねいに書きなさい。必要なときは、送りがなも書きなさい。

⑤ 祖先をうやまう。

⑥ 生活をいとなむ。

⑦ 内容をけんとうする。

⑧ せいせきが上がる。

3

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

①人間は、長い歴史の中で、自分たちの欲望に任せて、イネを思うがままに改良し、利用してきた。そして、物言わぬイネは、そんな人間の欲望に付き従ってきた。

②今やイネは人間の都合に合わせて、野生植物とは異なる姿形や性質を身に着けさせられ、原産地から遠く離れた日本で栽培されている。そして、やっと実を結んだ米という種子は、すべて人間に取り上げられてしまっているのである。

③イネは、人間の歴史に翻弄されてきた被害者なのだろうか？

④私は、そうは思わない。

⑤植物にとって、もっとも重要なことは、種子を作り、種子を広げることである。

⑥たとえば、タンポポは綿毛を風に乗せて種子を遠くへ飛ばしていく。あるいは、ひつつき虫と呼ばれる植物は、動物や人間の衣服に植物の実や種子をくつつける。

⑦その中には、「食⁽¹⁾べさせて、種子を運ぶ」という戦略がある。

⑧植物が実らせる甘い果実が、それである。植物は鳥のために、甘い果実を用意する。鳥が果実を食べると、果実と一緒に種子も食べられる。そして、種子は消化されることなく、糞と一緒に体外に排出されるのである。動物や鳥の消化管を種子が通り抜けるのには時間が掛かるから、糞と一緒に種が排出される頃には動物や植物や鳥は移動しているので、種子も移動して散布されるという作戦なのである。

⑨植物の果実が、赤く色づき、甘くなるのは、鳥を呼び寄せて食べさせるためなのである。

⑩もっと⁽²⁾ 手の込んだ方法もある。

⑪たとえば、スミレの種子はアリを利用する。スミレの種子をよく見ると、「エライオソーム」というゼリー状の物質が付着している。このエライオソームを餌にするために、アリは種子を自分の巣に持ち帰るのである。ただし、アリの巣の中に運ばれても、深い地面の下で芽を出すことはできない。じつは、アリがエライオソームを食べ終わると、種子が残る。種子はアリにとっては食べられないゴミなので、アリは種子を巣の外へ捨ててしまう。こうしたアリの行動によってスミレの種子は、遠くへ運ばれるのである。スミレのようにアリを利用して種子を運ぶ植物は、アリ散布型植物と呼ばれている。

⑫何という複雑な方法なのだろう。そして、まふまふ植物に利用されているアリの、何と哀れなことだろう。

⑬植物は種子を散布するために、さまざまな工夫をこらしてきた。中でも食べさせるなど、他の生物を利用するという方法は常套手段である。種子を運ぶためであれば、甘い果実を用意したり、栄養豊富なエライオソームを用意することなど、植物にとってはわけもないことだったのだ。

⑭イネは人間の都合に合わせて性質を変えてきた。そして、私たちはイネを栽培し、利用している……と思ひ込んでいる。

⑮しかし、どうだろう。人間たちはイネを育てるために田んぼを作り、イネの種をまいて苗を作っている。イネは人間たちに世話をされながら、何不自由なく暮らしているのである。そして、イネは日本中のすみずみにまで広がっているのである。

⑯それは、鳥たちが甘い果実に狂喜し、アリがエライオソームのついた重たい種子を運ばれているのと、何か違いがあるだろうか。

⑰分布を広げるためであれば、人間の好みに合わせて姿形や性質を変え

ることは、植物にとっては何でもないことなのだろう。人間が植物を自在に改良しているのではなく、植物が人間に気に入るように自在に変化しているだけかも知れないのだ。

⑮日本の歴史を振り返ると、「米」が重要な役割を果たしている。そしてときに人間たちは、米に翻弄されている。日本の歴史は、人間が米を利用してきた歴史ではなく、米が人間を利用してきた歴史であるかも知れないのだ。

(稲垣栄洋「イネという不思議な植物」筑摩書房)

⑨ 食べさせて、種子を運ぶ とありますが、植物はなぜそうするのですか。文章中の言葉を使って、十字以内で書きなさい。

(句読点も一字分とします)

⑩ 手の込んだ とありますが、同じような使われ方をしている言葉を文章中から三字で探し、抜き出して書きなさい。

⑪ 次の の文は、⑤⑬のどの段落のあとに入りますか。文章中から最も適切な場所を探し、段落の番号を書きなさい。

こうして、動物や人間を利用して、種子を運ぶのである。

⑫ この文章の特徴について説明したものととして、適切でないものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 論を展開していく過程で、具体例を用いて説明を補足すること
で、説得力をもたせている。

イ 人間や動物、植物など様々な視点から考えることで、物事を多角的に捉えられるようにしている。

ウ 事実と意見を区別しながら述べることで、筆者の考えを強調している。

エ 問いかけを用いることで、筆者の考えが明確に伝わるようにしている。

⑬ 森山さんは、国語の授業で文章を読み、内容をノートに整理しました。森山さんの整理の仕方を説明したものとして、最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

【森山さんのノートの一部】

具体例		種子の運ばせ方
タンポポ	綿毛を風に乗せて遠くへ飛ばす	
果実を 実らせる 植物	甘い果実を実らせる 鳥が果実を食べて移動する 糞と一緒に種が排出される	
スミレ	エライオソームを種子に付着させる エライオソームを餌にするアリが巣に持ち帰る エライオソームを食べ終わると種子を巣の外へ捨てる	
イネ	...	

ア 表にまとめることで、複数の情報を比較しやすくしている。
イ 表にまとめることで、情報の信頼性を確かめやすくしている。
ウ 表にまとめることで、自分の考えを明確にしている。
エ 表にまとめることで、筆者の表現の特徴を捉えている。

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

中学三年生の「ほく」は、厳格な父親の反対を押し切り、同級生の梨々と一緒に全国学生フェアデザインコンペに出場した。審査会場には「ほく」を応援してくれている母・祖父・身体が丈夫ではない弟「力」が一緒に来ていた。表彰式が始まり、二人は中学生ながらも「審査員特別賞」に選ばれ、スポットライトの下に立った。

うずまく拍手の中、夢心地で賞状と記念品をもらい、審査員からのくわしい批評を聞いて、頭をあちこちに下げまくった。

自分たちの席にもどると、入賞したという実感がじわじわとわいてきた。そして、この数か月間、一〇五度以上寄りかかっていたほくを支え続けてくれた相棒に、「ありがとう」と、やつと言えた。受賞するしなにかかわらず、もっと早く言うべきだったけど。

梨々は「こら、そんなマジな顔するな！照れる！」と言って、ほくの脇腹を肘で突つづいた。あまりの痛みに返す言葉を失っていると、梨々は急に顔を近づけて、「いっちょこそ、ありがと」とささやいた。

佳作には、例の変形ロボが選ばれた。発表された瞬間、ブーイングと拍手が同時に起きた。好き嫌いが分かれるデザインなのだろう。梨々も横で文句を言っていた。審査員は「デザインや原寸模型の完成度には問題があったものの、革新的で、限らない可能性を秘める作品」と称賛した。優秀賞には予想どおり、白い現代彫刻のイス。会場から熱い拍手が起きた。すでにファンがたくさんいるらしい。

司会者がグランプリ受賞作を発表したとき、会場からは「えーっ」と、予想外だというような声も出たけれど、ほくは納得した。あのイスがグランプリなら、文句ない。まわりに溶けこみ、さらにその環境をそつと美しくしてしまうようなイス。

「国立TK大学建築学科のみなさん、こちらにどうぞ」という声に続い

て、男女五人が前に進み、審査員たちの批評を聞き、大きなカップと賞状を受け取った。一見とても地味な彼らが作り上げたものは、あの静かにたたずむ美しいイスだ。ほくには、そのことがとてもしつくりきた。表彰式が終わり、夢の中にいるような気分のまま、後ろのほうで手をふりまくる力やかあさん、じいちゃんたちのほうに行く。じいちゃんは興奮しすぎて心配になるほどだし、かあさんも「一人ともがんばったね！」と、満面笑顔で喜んでくれた。力は頬を赤く染めて言った。

「お兄ちゃん、すごい」

ほくを見上げる小さな頭をくしゃくしゃとなでると、小さな声で力がつぶやいた。

「お兄ちゃんはどうどん遠くに行っちゃう」
(2) 胸をぎゅつと掴まれた気がした。

「力」

腰を曲げて、力の耳元にささやいた。

「たんぼほの話、覚えてるか？」

「え？」と、力は A をかした。

「たんぼほは土に根を張って動かないけど、綿毛は風に乗って遠くまで行けるんだぞ。おまえはこの先丈夫になるかもしれないし、もしなれなくても、たんぼほみたいに綿毛をあちこちに飛ばせばいい。インターネットでもオレでもなんでも利用して、おまえの綿毛を遠くに飛ばせ」

力は目をきらつと輝かせた。

「そっか。わかった。飛ばすよ。うーんと遠くまで」

ほくはうなずくと、力と久しぶりに手のひらをパチン！と合わせた。力の手は、前よりずいぶん大きくなった気がした。

(佐藤まどか「一〇五度」あすなろ書房)

※1 コンペⅡコンペティションの略

一定の課題を出して、複数の設計者に競わせること

※2 一〇五度Ⅱイスの背もたれの傾きを表す角度のこと

⑭ ⁽¹⁾ ぼくは納得した とありますが、その理由が分かる一文を文章の中から探し、はじめと終わりの五字を書きなさい。

(句読点も一字分とします)

⑮ ⁽²⁾ 胸をぎゅっと掴まれた気がした とありますが、このときの「ぼく」の心情として、最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 自分に甘えてくる弟の可愛らしさに、心が奪われている気持ち。
イ 弟のことをかまっていあげられなくて、申し訳ない気持ち。
ウ 思うように行動できない弟を切なく思い、励ましたい気持ち。
エ 弟が自分の才能に嫉妬していることに気づき、氣まずい気持ち。

⑯ A には、体の一部を表す漢字が入ります。最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 頭
イ 首
ウ 顔
エ 肩

⑰ この文章の内容について、最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア イスのコンペを通して、ライバル達との熱い戦いと、最優秀賞を取ることができなかった悔しさが、客観的に書かれている。

イ 比喩や擬態語を使って、イスの審査会の様子が鮮明に描写され、「ぼく」が自分の力で賞を取った達成感や満足感が書かれている。

ウ 様々な登場人物の視点から、イスのコンペで入賞する難しさや、兄弟の複雑な関係が書かれている。

エ イスのコンペで賞を取った喜びと、周囲の人々と心を通わせている様子が、「ぼく」の目線で書かれている。

⑱ 水谷さんたちは、この文章を読んで話合いをしています。次の に入る発言を、「たんぼぼ」「綿毛」という二つの言葉を使って、四十文字以上、五十文字以内で書きなさい。(句読点も一字分とします)

水谷さん 中学生がイスを作って審査会に出るなんて想像もしなかったな。
伊藤さん そうだね。イスの描写も面白いけれど、私は「ぼく」と弟の「力」の会話が気になったな。

阿部さん それ、分かる。どうして「ぼく」は弟の「力」にたんぼぼの話をしたのかな。

橋本さん そういえば、弟の「力」は、たんぼぼの話を聞いた後に、「目をきらりと輝かせた。」とあったよね。どうしてだろう。

水谷さん 「ぼく」は弟に、

伝えているのではないかな。だから弟の「力」の目が輝いたんだと思うよ。

みどり中学校の鈴木さんは、若葉小学校の中田先生と、6年生を対象にしたみどり中学校の学校説明会について、メールで打ち合わせを行っています。7ページの「鈴木さんのメモ」は、「中田先生からの返信メール」が来たあとに、生徒会役員会で確認をした時のものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【鈴木さんが送信した一回目のメール】

宛先 ○○@△△.jp

件名 みどり中学校^①校説明会について

2021/12/15

若葉小学校 中田 真理 先生

初めてメールを差し上げます。みどり中学校生徒会副会長の鈴木良太と申します。

私たちは、毎年実施している小学校6年生を対象にした学校説明会に向けて準備を進めています。新年度に安心して入学してもらえるように、分かりやすい説明会にしたいと思います。説明会では、作成した資料をスクリーンに映して学習と部活動の様子について説明する予定です。

私たち生徒会役員5名で1月13日（木）の午後にうかがいたいと考えています。都合のよい時間を教えていただけますでしょうか。よろしくお願いします。

みどり中学校 生徒会副会長 鈴木 良太

【中田先生からの返信メール】

宛先 △△@○○.jp

件名 Re：みどり中学校説明会について

2021/12/16

みどり中学校 鈴木 良太 さん

若葉小学校の中田です。今年も小学生のために説明会を実施してくださり、大変うれしく思います。140名の6年生は、中学生の話をとても楽しみにしています。

説明会の内容を考えていただきありがとうございました。学習と部活動以外に、学校行事についてもお話していただくことは可能でしょうか。

1月13日（木）の午後は6時間目に体育館が使用できるようにしてあります。6時間目は14時15分から始まるので、間に合うように気を付けて来てください。

若葉小学校 中田 真理

【鈴木さんが送信する二回目のメールの下書き】

宛先 ○○@△△.jp

件名 Re:Re: みどり中学校説明会について

2021/12/18

若葉小学校 中田 真理 先生

みどり中学校の鈴木です。ご返信くださりありがとうございます。

学校行事についての説明を考えておきます。当日は準備もあるので14時には到着できるようにします。



ご確認よろしくお願いします。今回の説明会でみどり中学校のよさをたくさんの小学生に伝えられるようがんばります。

みどり中学校 生徒会副会長 鈴木 良太

12月17日	生徒会役員会	メモ
日時	1月13日(木曜日)午後 ※6時間目14:15から 14:00に到着 16:30に中学校に戻り、部活動に途中から参加することを、部活動担当の先生に伝えておく。	
場所	若葉小学校 体育館	
参加者	生徒会役員5名(みどり中学校) 6年生140名(若葉小学校)	
内容	小学校6年生を対象に、作成した資料をスクリーンに映して中学校生活について説明する。 ・学習について ・部活動について ※学校行事を追加する	
準備物	持参するもの	パソコン 借りたいもの マイク スクリーン プロジェクター

ア板
イ牧
ウ礼
工抽

新しい服を買う。

イ 今年の冬は例年より寒い。

ウ 人数が多ければ、調整しよう。

エ 夕焼けは美しかった。

条件 1 誤字・脱字がないようにし、文末を前後のメールの言葉づかいに合わせて書くこと。

条件2 **【鈴木さんのメモ】** を参考にし、メールの中で取り上げられていない内容から必要な情報を書くこと。

6

田村さんの学級では、「今昔物語」を用いて古典の学習を進めることになりました。授業では、各グループで朗読をくり返し、劇として表現する学習活動をしています。

次は、「今昔物語」の一場面と劇の役割です。これを読んで、あの問いに答えなさい。

川成、飛驒の工が家に行きぬ。行きて見れば、まことにをかしげなる小さき堂あり。四面に戸みな開きたり。A、「(1)かの堂に入りて、その内見給へ」と言へば、川成、縁にあらりて、南の戸より入らむとするに、その戸はたと閉づ。驚きて、めぐりて西の戸より入る。またその戸はたと閉ぢぬ。また南の戸は開きぬ。しかれば、北の戸より入るにはその戸は閉ぢて、西の戸は開きぬ。また東の戸より入るに、その戸は閉ぢて、北の戸は開きぬ。(2)かくのごとくめぐるめぐる、あまた度入らむとするに、閉ぢつ開きつ入る事を得ず。詫びて縁より下りぬ。その時に、飛驒の工笑ふ事限りなし。

※1 川成＝絵師の名前
 ※2 飛驒の工＝大工の名前
 ※3 縁＝縁側
 ※4 詫びて＝困って

劇の役割	
【川成】	田村さん
【飛驒の工】	森田さん
【語り手】	村上さん

(23) (1) かの堂に入りて、その内見給へ という会話文がありますが、Aにはその話し手が入ります。この会話文を音読するのは、グループ内の誰になりますか。最も適切なものを、次のア～ウの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 田村さん イ 森田さん ウ 村上さん

(24) 閉ぢぬ を現代かなづかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

(25) (2) かくのごとくめぐるめぐる、あまた度入らむとする とありますが、このようにしたのはなぜですか。その理由として、最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

7

ア お堂をいろいろな方角から眺めて、そのすばらしさを見てみた
 イ お堂をいろいろな方角から眺めて、四方にあるすべての戸を開いてみようと思ったから。
 ウ お堂の中に入ろうとしたが、すべての戸が閉じたままで、開かなかったから。
 エ お堂の中に入ろうとしたが、日の前の戸が閉まってしまい、他の戸から入ろうと思ったから。

(26) 田村さんのグループは、「今昔物語」の内容について話し合いをしています。会話の中のBに当てはまるものとして、最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

田村さん 平安時代にすでに今の自動ドアのような仕組みを作った人がいることに驚いたな。
 森田さん たしかにそうだね。しかも、その時代に自分の技術を使って相手を試すようなことをするなんて、今の私たちと変わらない感覚があったことにも親近感が湧いたよ。本文の最後には、「飛驒の工笑ふ事限りなし」という表現があったけれど、この時の川成は、Bだらうね。
 村上さん 飛驒の工は大工としての腕前が素晴らしかったことがわかったけれど、川成は絵師としての腕前はどうかだったのかな。この話には続きがあるみたいだから、今度図書館に行つて調べてみようよ。

ア 飛驒の工が喜んでる姿を見て自分もお堂の完成をお祝いしたくなった
 イ 飛驒の工がいたずらの成功を面白がっている姿を見て悔しい気持ちになった
 ウ 飛驒の工が喜んでる姿を見てもう一度お堂に入ることを試してみたくなった
 エ 今まで見たこともない飛驒の工の技術の高さを見て驚き、感動した放送を聞きながら、メモを取り、答えを解答用紙に書きなさい。